



そこで、イエスは、その人だけを群衆の中から連れ出し、その両耳に指を差し入れ、それからつばきをきて、その人の舌にさわられた。そして、天を見上げ、深く嘆息して、その人に「エパタ。」すなわち、「開け。」と言われた。すると彼の耳が開き、舌のもつれもすくに解け、はっきりと話せるようになった。(マルコ 7:33-35)

発行/日本アッセンブリーズ・オブ・ゴッド教団
ろう者伝道部
〒170-0003 東京都豊島区駒込 3-15-20
TEL 03-3918-5935
発行者 井桁正巳
編集者 五島靖子
タイトルバック写真 山中和明

「御言葉を聞いて行う」

松山神愛キリスト教会牧師
五島 靖子



「わたしのもとに来て、わたしのことばを聞き、それを行う人たちがどんな人に似ているか、あなたがたに示しましょう。」

その人は、地面を深く掘り下げ、岩の上に土台を据えて、それから家を建てた人に似ています。洪水になり、川の水がその家に押し寄せたときも、しっかりと建てられていたから、びくともしませんでした。

聞いても実行しない人は、土台なしで地面に家を建てた人に似ています。川の水が押し寄せると、家は一ぺんに倒れてしまい、そのこわれ方はひどいものとなりました。」ルカ六章四七節〜四九節

この御言葉はイエス様が、群集そして弟子達に對して、平地で語られたメッセージの締めくくりの御言葉です。イエス様は神の国の律法について語られました。その中心テーマは、人を愛すること、敵を愛する事についてでした。そして、メッセージの最後に、御言葉を聞いても実行しないなら、その結果はひどいものになると言われました。

ここでイエス様が言われているのは、単に、表面的に御言葉を聞いて行えば良いという意味ではありません。自分を憎む者に対して形だけ良い事を行う、自分をのろう者に対して表向きだけ祝福の言葉を語る、さも敵を愛しているような行動をしてみせる…そのような事を主は願っておられるではありません。

しかし、自分にきつい言葉を言ってくる人に対して、愛のこもった言葉かけをする、裁く人に対

して赦しの笑顔を向ける、それは、なかなかできない事です。イエス様が語られた御言葉を聞いて、それを、心の底からアーメンと同意して行うのは難しい事です。

私達は、イエス様に対して、「主よ」と呼びかけながら、敵を愛するよりも、憎しみを抱いてしまふような者です。

イエス様は、御言葉を聞いて行う人は、地面を深く掘り下げて家を建てた人に似ていると言われました。岩に到達するまで深く地面を掘り下げて、そこに土台を据える事が必要だと言われたのです。つまり、私達は、自分の心を深く掘り下げて、揺るがない人生の土台であるイエス様にしっかりと根ざして、自分の人生を築いていくことが大切なのです。

自分の力で頑張って御言葉を行う事はできません。しかし、主との親しい交わりがあるなら、自然と行いは生まれてきます。イエス様によって救われた感謝、主に愛されている喜びの中に留まる時に、私達は敵をも愛する者へと変えられるのです。

イエス様は、私達に対して、「あなたは、御言葉に従えない者だから、洪水に流されてしまえ！」と脅しておられるではありません。十字架上で全ての罪を背負い勝利された主は、私達が御言葉に従って良い実を結ぶ人生を歩めるように、常に執り成し、助けてくださるお方です。私達が主の元に来て、親しい時を過ごすことを願い、待つておられるお方なのです。

今日、一ミリでも主の前に近づいていきましよう。眠る前の最後の思いがイエス様でありますように。

「主よ、今日の一日を感謝します。」

ろう者信徒聖書学校 報告

ろう者信徒聖書学校が、二月十日(日)～十一日(月)の二日間、大阪府堺市の国際交流センター(ビッグ・アイ)において開かれました。今回は「基本教理」と「クリスチャン生活」で、担当は北澤成弘先生と瀬古慎二先生でした。ろう者信徒聖書学校の合格者は次のとおりです。

【基本教理】

藤木 真美 (小岩)
古川 公子 (阿南)
坂井 光次 (明石)

【クリスチャン生活】

藤木 真美 (小岩)
藤原 典子 (中央聖書)
古川 公子 (阿南)
坂井 光次 (明石)



「基本教理」の学び

担当 北澤 成弘

岡山神召基督教会

基本教理には三名が受講いたしました。基本教理の中でも特に「教会」について学びました。どの受講生も長い教会生活を送ってきています。毎週、当たり前のように通い続けている「教会」について改めて学びました。内容は以下の通りです。①教会の起源②教会の性質③教会の範囲④教会の使信(メッセージ)⑤主の晩餐⑥水のバプテスマ(洗礼)⑦教会の組織⑧教会の目的、です。教会は人が作り上げた単なる集まりでは決してなく、神が人を世から召し出した集まりです。そして聖霊がクリスチャンと共に働かれて教会を造り上げていきます。また教会は福音宣教という目的があります。今回の学びを通して、自身は神が目的をもって教会に遣わしていることを改めて自覚することが出来ました。講義が学びで終わるのではなく、教会の働きのために活かされること

を願います。受講生たちの教会生活を伺いながら楽しい雰囲気で行われました。感謝いたします。

「クリスチャン生活」の学び

担当 瀬古 慎二

御影神愛キリスト教会

今回、私は「クリスチャン生活」という科目を担当させて頂きました。四名の兄弟が受講をして下さいましたが、私の下手な手話にも関わらず皆さん熱心に講義を受けて下さいました。ろう者の方々にお話しする時にいつも思うことですが、皆さんよく応答して下さいるので本当に感謝です。分かった時には、「分かった」と手話と表情で応答して下さいます。分からない時も「分からない」と応答が返ってきます。そんな時は、手話とホワイトボードを使いながら必死に説明させて頂いています。いずれにしても皆さんが一生懸命に御言葉を学ぼうとする姿勢にこちらも励まされます。私の

手話は、まだまだ足りないところが多いのですが、ろう者の方々と一緒に聖書を学ぶ恵みに預かって感謝しています。

時々、私のような者が、ろう者の兄弟の役に立っているのだろうか、と思うことがあります。ろう者の方々の素直な信仰姿勢に教えられ励まされています。ろう者の皆さんの上に主の恵みが豊かにありますよう祝福をお祈りしています。

信徒聖書学校を受講して

小岩栄光キリスト教会員

藤木 真美

最初に信徒聖書学校を受講したのは、まだ二十代半ばで、主の救いに与ってからのことでした。魂の救いの確信は、聖書を一心に読むように導かれました。この経験は私の人生最大の転機でもありました。様々な道を通りましたが、神が私とともにおられたので、義しく主の望まれる道を進むことができました。

その後、まだ信徒聖書学校を修了していなかった、と思い出

しました。昨年から受講するために大阪まで行き、修了を目標に励んでいます。以前は教会を離れ、迷い羊のように強いられていたため、改めて洗礼を受けたときに教会員となった証明としての教会員必携を読み通しました。教会員に相応しく生きていくかどうか、の意義を確かかなものとされる内容であったと思います。受洗後、十九年経った現在も成長させてくださる主に心から感謝します。

ろう者トレーニング スクール報告

ろう者信徒聖書学校と並行して、ろう者トレーニングスクールが開催されました。参加者は四十名でした。初日の聖会（五島靖子先生）に続いて、二日目は「御霊の実を結ぶ」をテーマに郡美矢先生がわかりやすく、丁寧に語ってくださいました。



「御霊の実を結ぶ」

トレーニングスクール

担当 郡美矢

広島基督教会

御霊の実として知られている九つの項目を見てどんな思いをされるか、まず、自分自身を顧みて、十分持っているか、足りないか、など、どの程度これらをもっているかを自己採点してみました。結果は皆さんまちまちでしたが、ヨナの物語を通して、不必要に自分を責めたりするのではなく、御霊との歩みの中に私たちはキリストらしく造りかえられることをしっかりと学ぶことが出来たと思います。



証のコーナー

母の救い

新居浜福音キリスト教会員

清水 悦郎

母のことを思うと、「悦ちゃんが小さい時に、ストマイ（ストレプトマイシンの注射をうったために、聞こえなくなっ
てごめんね。個人病院ではなく、大きな病院で診てもらったら良かった。ごめんね！」と、私が成人になっても、手を合わせて何度も謝り続けた母の姿が目には浮かんできます。

私が物心ついた時、耳が聞こえない世界にいる自分に、薄々気づいていました。幼稚園に入園して、先生の話や他の園児達との会話は全くわかりませんでした。小学一年生から、聾学校に入学しました。学校は、家から遠く離れたところにあったので、寄宿舎に入りました。布団や衣類など送る荷造りの途中、父母から「悦ちゃん、これから一人で寝るんだよ。がんばるんだよ。」身振り手振りで語ってく

れました。私一人で寝ることなど考えることはできませんでした。聾学校入学前夜、私は父母に抱かれながら寝ました。

何年かして聾学校の寄宿舎で、先輩から「アンデレ伝道」により「イエスキリスト」を知り、キリスト教の集会に参加しました。それから教会に導かれ、神を信じる決心をしました。

「神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに、世を愛された。それは神子を信じる者が、ひとりとして滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。」ヨハネ二章十六節

高等部卒業後、新居浜の理容店に就職し、新居浜福音キリスト教会で洗礼を受けました。結婚を機に理容店を経営しました。一九九九年十一月、父が召された少し後、妻の協力を得て、母を家に迎えることになりました。母が家に来て



★2019年全国ろう者聖会★

日程 8月12日(月)～14日(水)

場所 幕張メッセ

講師 郡美矢師(広島基督教会)

★第6回世界アッセンブリーろう者大会★

日程: 2020年9月30日-10月7日

場所: バルセロナ(スペイン)

費用: 82500円

(観光・記念品・食事・宿泊込)

第2次切: 8月31日(土)

申込希望者は所属教会の
牧師の承認を得て、
以下までお申し込み下さい。

徳島神召キリスト教会

FAX 088-698-6776

E-mail tshinsho@mxi.netwave.or.jp



から、私達と一緒に、毎週日曜日に教会の礼拝に出席しました。二〇一二年二月二十六日 母は洗礼を受けました。

「私はあなたに感謝します。あなたが私に答えられ、私の救いとなられたからです。」

詩篇百十八章二十一節

その後も、母とともに毎週教会の礼拝に出席することができました。母が救われたことは、私にとって大きな喜びでした。「母上様。わたしを生んでくれてありがとうございます。三人の子供を育ててくださってありがとうございます。」

う。」という、母は両手を顔にあてて、そっと泣いていました。母は二〇一六年十一月十二日老衰により、主のみもとに召されていきました。九十一歳でした。親戚の人や友人が、初めて「賛美歌を歌うキリスト教の告別式に参列し感動した」という人が多数いたことは、母の最高の証となりました。

「エパタ」私だけでなく母の「霊の耳」をあけてくださった喜びを主に感謝し、神に栄光を帰します。アーメン

愛するろう者の方々と そのI～ろう者との出会い～

新居浜福音キリスト教会 楠章三

1971年3月中央聖書学校を卒業したH先生が、徳島に赴任しました。その時私は、マクレン宣教師夫妻と一緒に自動車で行きました。途中徳島でH先生と荷物を降ろし、高知県の須崎に行き一泊。次の日久礼坂の悪路をやっとの思いで登りきり、中村教会に着きました。

中村教会で小岩の吉山先生を迎えて「ろう者特別伝道会」が行われました。その時手話通訳をされたのが、竹中通雄先生夫妻です。その特伝でろう者の方がイエス様を信じ救われることを知り感動しました。

次に行ったのは岡山の総社の教会です。ある日、先生は岡山教会に連れて行ってくださいました。当時A先生がおられ、住み込みでろう者の女性がいました。先生はその方を呼ばれ、一緒に手話で賛美をしました。先生に教えていただきながら、楽しく賛美ができた



最後の奉仕教会は徳島です。私が行った日、H先生と二人のろうの兄弟は、広島教会に行かれました。

日曜日の朝、市内の教会で礼拝をし、午後のろう者の集会に出席しました。姫路から来られるO兄が来ない。突然私に「メッセージをしてください」と言われたのです。私は「手話ができない」と言うのと「黒板に書いて話してください」という。私は「ザアカイ」の所から自分の証を交えて話しました。手まねモノマネで黒板はあまり使わず話し終えました。最初遠くにすわっていた人達が、だんだんと近くに来て、身をのりだすようにしてきてくださいました。

四国、岡山でのろう者の方々と出会いが、ろう者の方々と関わっていくようになったのです。